

戦略的なプロモーション

デジタル
マーケティング

SNS

観光アプリ

効果的な
情報発信

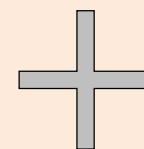


戦略的な需要の取込み

食

主力道産品目

米(日本酒)・牛乳・乳製品
小麦・和牛・花き
ホタテ・ホッケ・菓子・ワイン等

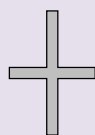


新たな戦略品目

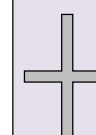
落花生・にんにく・さつまいも
マイワシ・ニシン・ブリ

観光

どうみん割



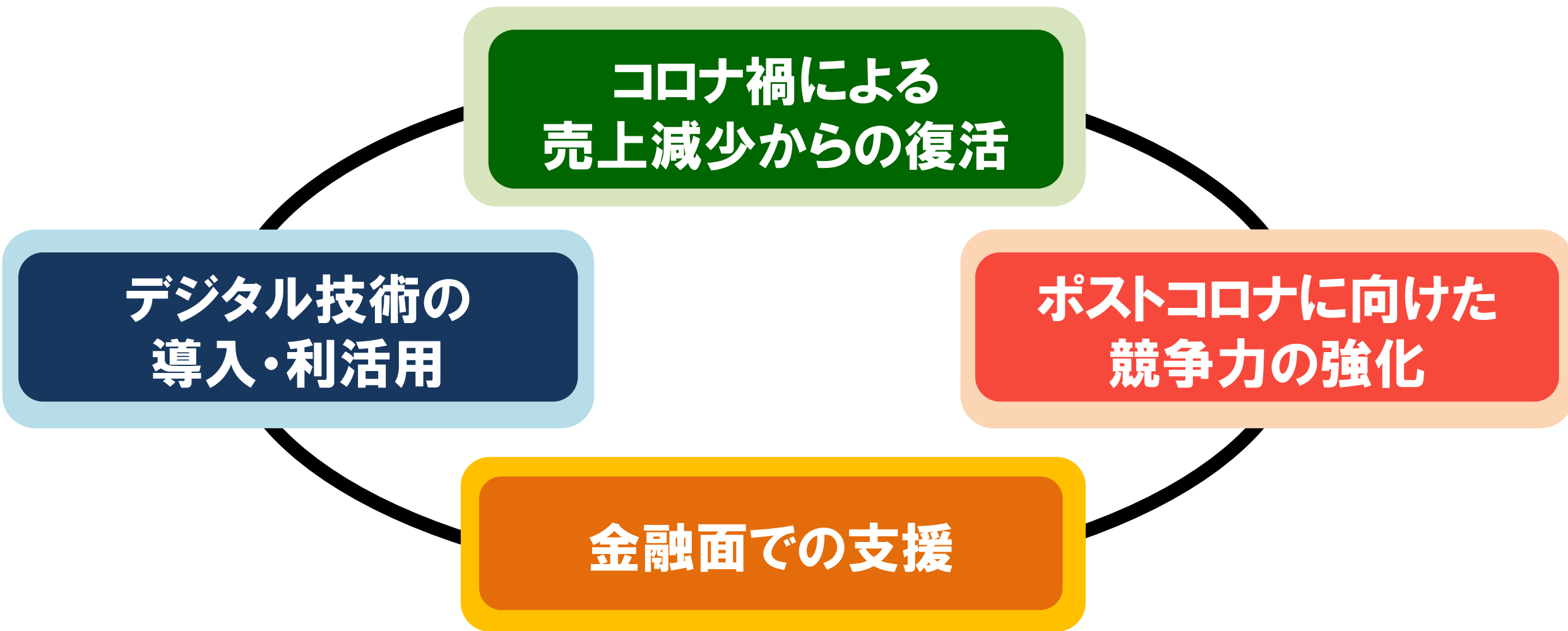
Go To
トラベル(国)
北海道
Go To トラベル



ぐるっと
北海道

A T W S
2023
北海道
開催

戦略品目の育成や効果的プロモーションによる需要の取込み



コロナ禍の影響を受けた中小・小規模企業の新たな取組の促進

2 コロナ禍からの経済の再生と地域産業の活性化

外国人技能実習生等の入国

現状（～2月）

原則停止

7日間

3,500人/日

緩和

3月～

許可

3日間

（入国3日目検査で陰性の場合）

5,000人/日

新規入国

待機期間

入国者数上限

公共交通機関

不使用

入国後の掛かり増し待機費用を支援

ユースプランナー制度の創設

(非予算事業)



子育て支援の総合的な推進

※医療的ケア児支援センターの設置

ヤングケアラー支援

※北海道ケアラー支援条例の制定

次世代の声を子育て支援につなげる

ソフト面の支援

道 地域の段階に応じた支援

未着手段階

計画策定に向けた支援

検討段階

脱炭素に向けた協議会立ち上げ支援

実践段階

具体的な課題解決に向けた支援

国

道

ワンストップ相談体制

ハード面の支援

道

ゼロカーボン 地域プロジェクト

市町村・民間等のコンソーシアム

ゼロカーボン・モビリティ
(新エネ、EV、地域レジリエンス)

ゼロカーボン・ビレッジ
(新エネ需給一体型のまちづくり)

ゼロカーボン・イノベーション
(新エネ先端技術の地域実装)

国

脱炭素先行地域を支援

地域への支援によるゼロカーボン北海道の推進

4 地域の特徴を活かし全道一丸で取り組む「ゼロカーボン北海道」

見える化

家庭
取組成果
実感アプリ

事業者
排出量
公表ボード

行動変容

ナッジの活用
情報発信
効果検証

《ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト》

プラゴミの削減、マイボトルを持ち歩こう！

木を植えて、育てて楽しもう！

環境の未来について考えよう！

CO₂排出量を知ろう！

CO₂排出量の「見える化」やナッジの活用による行動変容の促進

4 地域の特徴を活かし全道一丸で取り組む「ゼロカーボン北海道」



自然豊かな本道の利点を活かした吸収源対策の推進



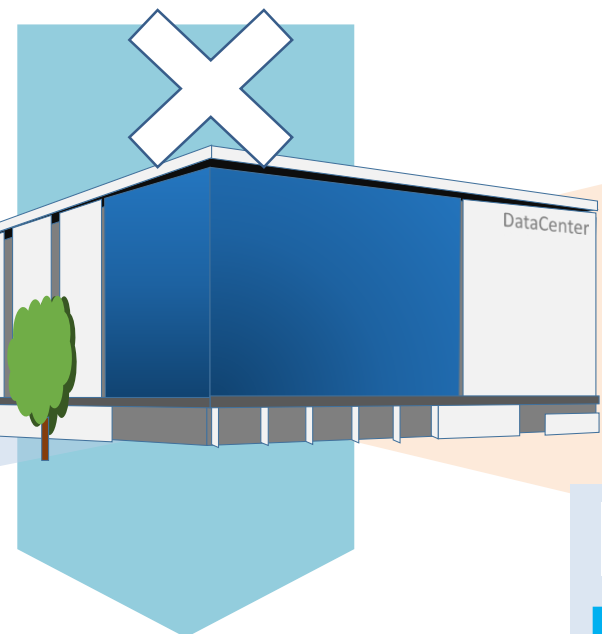
❄️ 積雪寒冷条件下における飛行実証

■積雪で孤立した集落への物資配送 ■災害発生時の避難誘導

積雪寒冷地対応ドローンの実証による「北海道Society5.0」の推進

「グリーン」 × 「デジタル」 かけ合わせによる相乗効果

「次世代データセンター」の誘致と関連産業の集積



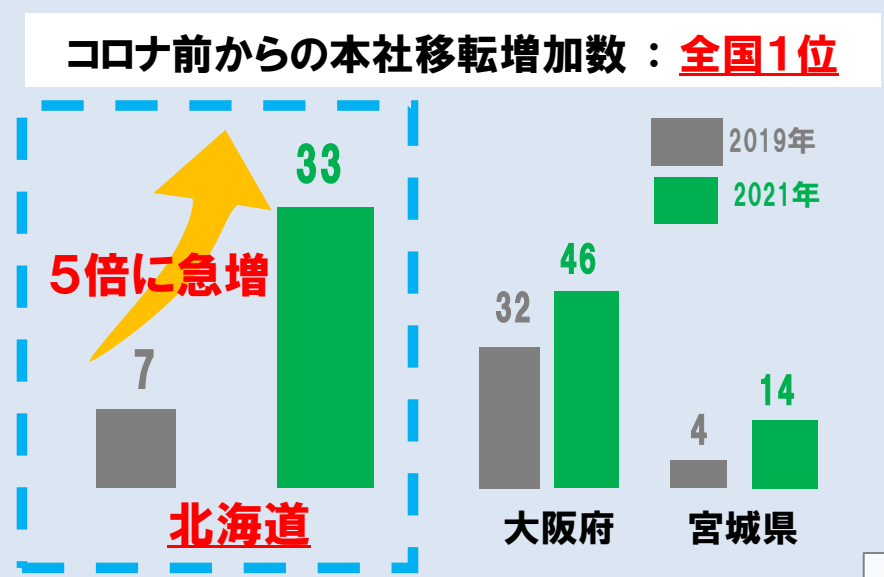
< 脱炭素の優位性 >

- 豊富な再生可能エネルギーの活用
- 省エネルギーの実現

< 地理的優位性 >

- 北米・欧州との地理的近接性
- 同時被災リスクの回避
- テレワークの浸透

北海道 = 国内の最適地



国内最大規模の次世代データセンターの拠点化

4 地域の特徴を活かし全道一丸で取り組む「ゼロカーボン北海道」

5 暮らしや産業へのデジタル化の浸透による「北海道Society5.0」の実現

ゼロカーボン

■道自らの計画達成に向けた取組

○道有施設の太陽光パネル設置

○公用車の次世代自動車化

○新・改築等の庁舎ZEB化



デジタル

■Smart道庁の推進

令和4年
4月～

全職員にスマートフォンの配付
多様な働き方の実現

令和4年
2月～

本格運用に先駆けたモバイルワークの試行



道の率先行動による取組の加速化